

会 議 録

会議の名称	第22回白岡市地域公共交通会議及び 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会合同会議
開催日	平成29年10月20日（金）
開催時間	午後2時から 3時20分 まで
開催場所	白岡市役所庁舎 4階 特別大会議室
会長の氏名	秋葉清一郎
出席者（出席 委員）の氏名・ 出席者数	高橋直樹、明野真久、佐々木 操、齋藤康男、広田勝明、藤田幸也、 畦地英樹、熊谷茂浩、尾崎晴男、加藤裕紀、秋葉清一郎、中島浩之、 中村輝久 13人
欠席者（欠席 委員）の氏名・ 欠席者数	細井将司、鶴岡 洋、高原 昭、矢島静江、浅野悦子、小川幸一、菊 谷 登 7人
説明員の職・ 氏名	市民生活部 部長 高澤利光 地域振興課 課長 嶋崎 徹 地域振興課 公共交通推進室 室長 大久保 栄 地域振興課 公共交通推進室 主査 内田英俊
事務局職員の 職・氏名	市民生活部 部長 高澤利光 地域振興課 課長 嶋崎 徹 地域振興課 公共交通推進室 室長 大久保 栄 地域振興課 公共交通推進室 主査 内田英俊
その他会議出席 者の職・氏名	なし 傍聴者 1名
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 会議事項 (1) 白岡市のりあい交通の運行実績とアンケート結果から見えた 課題と運行内容の変更について

	<p>(2) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領（案）について</p> <p>(3) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務仕様書（案）について</p> <p>(4) その他</p> <p>4 閉会</p>
<p>配布資料</p>	<p>会議次第</p> <p>会議資料</p> <p>1 新たな運行契約に向けた課題の整理について</p> <p>2 検討項目 [昼休み時間の運行] について</p> <p>3 検討項目 [予約時間] の変更について</p> <p>4 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領（案）</p> <p>5 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務仕様書（案）</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 高澤市民生活部長の進行により会議が開会した。
秋葉会長	2 挨拶 秋葉会長から挨拶が行われた。
事務局	3 会議事項 (1) 白岡市のりあい交通の運行実績とアンケート結果から見えた課題と運行内容の変更について 事務局から資料1～3に基づき、これまでに把握している課題の整理とその中で次期運行契約に反映させるべきかを今回の会議で検討する課題についての説明が行われた。 事務局案として、費用対効果の観点から、資料2記載の昼休み時間の運行を取り入れることとし、資料3の記載事項については、オペレーターの受付時間を7時30分からと拡大することはせずに、インターネット予約を活用していくことが提案された。 その後、会議を欠席したA委員から事前に寄せられた意見を発表した。 【A委員の意見要旨】 昼休みの運行は、ぜひとも取り入れてほしいところであるが、運転手の人件費などのコストが心配である。 予約時間の拡大については、7時30分からとした方が利用者にとっては、良いことであるが、こちらもオペレーターの人件費などが心配である。1便について、利用者に前日までに予約する習慣が根付いているのであれば、インターネット予約を活用する方向でよろしいのではないかと。 秋葉会長 本事項について、御意見・質問等があればお願いしたい。 B委員 運行事業者としての実感等を述べさせていただく。

<p>C委員</p> <p>事務局</p> <p>D委員</p>	<p>予約時間を拡大することに関して、1便については、現在、ほぼ予約はいっぱいとなっており、前日でも取れないことがある。運行初期には、当日予約できないことにお叱りの声もあったが、現在では、そうした声はほとんどない。そもそも、デマンド交通は、計画的な外出に対応するものである。</p> <p>インターネット予約については、高齢者には利用が難しい面があるが、同居はもちろん、別居の家族でも予約してもらえということもある。</p> <p>予約の電話は、8時30分からの30分間は鳴りっぱなしである。こうした混雑の緩和の意味からもインターネット予約を活用する方向が良いのではないかと考える。</p> <p>昼休みの運行について、病院からの帰りでは、のりあい交通の利用は4割程度で、残りの6割は、タクシー・バスを利用していると考えられる。そうした面からは事業者にとってマイナスとなる部分があるが、市民になるべく外出してもらい、タクシー・バスを利用してもらいたい。</p> <p>なお、ドライバーには休憩が必須であるので、運行時間が連続することになっても、現在の2人体制から増やすとなると、どこかのタイミングで事業所に戻り交替する必要がある、ロスが生じることを考慮する必要がある。</p> <p>インターネット予約について、他の自治体で導入事例があるのか。また、増加するコストはどの程度なのか。</p> <p>正確には把握していないが、2～3団体あるようである。コストについては、現在のオペレーションシステムには既に機能が実装されており、運用に当たっての増加費用はないと聞いている。</p> <p>また、利用者にID・パスワードを通知する必要があるため、その費用が増加コストと考えられる。</p> <p>インターネット予約については、利用者がどのような内容で予約が確定したのかなどを分かりやすくするなど運用面でのケアする必要がある。</p>
----------------------------------	--

事務局	<p>また、昼休みの運行については、どのような人が乗るのか想定があるのか。</p> <p>資料記載の需要予測においては、前年度に実施した登録者アンケートの結果を基にしている。つまり、登録のみしており、現在は、のりあい交通を利用していない人である。お答えになるかは分からないが、こうした方々に利用していただき、外出する市民を増やし、公共交通を利用する人を増やしたいと考えている。</p>
D委員	<p>行きの利用なのか、帰りの利用になるのか分からないが、新たなお出かけになるのであれば、よろしいのではないか。</p>
E委員	<p>駅・バス停から離れた地域の交通弱者について助けてほしい。地域によって生活圏が違うので、市外へも出て行けるようにしていただきたい。今すぐにと言うわけではないが、これからの検討課題としてほしい。</p> <p>また、昼休みの運行については、やって見て、結果をみたい。</p>
事務局	<p>市外への移動については、国土交通省が言うところの幹線、つまり、JRや路線バスが担うものであると考えている。のりあい交通は、それに対して枝であるフィーダー系統であり、幹線から分岐した先を担当する公共交通である。</p> <p>また、地域でそのような話が出るのであれば、市とよく協議していただきたいし、地域で需要を束ねて公共交通を利用するようにしてほしい。そうしたことが、のりあい交通ではない市外への交通機関につながるものとする。</p>
B委員	<p>市外への運行は、できると思うが、そうすると乗れる人が少なくなってしまう。菖蒲の例で久喜総合病院や久喜駅へ行くとすると、1人で1台を利用することになってしまう。また、そういう形で利便性を向上させると、バス利用者が減少し、縮小・撤退につながるおそれがある。</p> <p>地域で需要を束ねると同時に、例えば1人が何回乗るという</p>

F 委員	<p>ような具体的な行動をしてほしい。</p> <p>昼休みの運行については、老人クラブの人から運行してほしいという声を聞いている。ぜひ、実施してほしい。</p>
秋葉会長	<p>それでは、まとめると、事務局案のとおり、便数を増やして1日9便にし、これまでの昼休み時間を運行すること、予約の電話受付時間は現行のとおりとしてインターネット予約機能を活用していく方向でよろしいか。</p>
出席委員	<p>一同了承した。</p>
<p>(2) 白岡市オンデマンド型公共交通サービス運行業務に係る公募型プロポーザル実施要領（案）について</p>	
事務局	<p>事務局から資料4に基づき説明が行われた。</p>
秋葉会長	<p>質疑があれば、お願いしたい。</p>
G 委員	<p>プロポーザルの要領等はどのように配布するのか。</p>
事務局	<p>インターネットを活用し広く配布したい。</p>
秋葉会長	<p>紙では配布しないのか。</p>
事務局	<p>希望があれば対応する。</p>
秋葉会長	<p>他に質疑が無ければ、原案のとおり実施することとしたい。</p>
出席委員	<p>一同了承した。</p>
秋葉会長	<p>説明のあった「選定審査委員会の委員」については、私から指名させていただいてよろしいか。</p>

出席委員	一同了承した。
秋葉会長	それでは、6名指名させていただく。よろしいか。
出席委員	一同了承した。
	(3) 白岡市オンデマンド型地域公共交通サービス運行業務仕様書 (案) について
事務局	事務局から資料5に基づいて次期契約の仕様について説明がなされた。
秋葉会長	質疑があれば、お願いしたい。
D委員	予約受付について、FAXがあるが、利用者から一方通行の手続となってしまうことはないのか。そういうことのないよう仕様に記載してはどうか。また、インターネット予約についても同様の懸念がある。
B委員	FAXによる予約は月に1回あるかないかである。電話と同様、オペレーターの受付時間内で対応している。本人に折り返し連絡し打合せの後、予約を確定させるところまで、きちんと対応している。 また、インターネット予約機能については、利用者の処理で予約が完結するものである。このため、利用者が待ち合わせ時間を分からないということはない。
D委員	そうした場合、後で他の人の予約と調整され、到着が遅れるなどということはないのか。
B委員	予約システムでは、他の人と乗り合いできるよう余裕時間が設定されている。このため、1、2分のずれは生じることがあるが、大幅なずれは生じない。

<p>秋葉会長</p> <p>出席委員</p>	<p>他にはいかがか。無ければ、仕様書案について、本日決定していただいた事項を修正して実施するということよろしいか。</p> <p>一同了承した。</p> <p>4 閉会</p> <p>佐々木副会長が閉会を宣した。</p>
-------------------------	--